

泣き虫

私いつのまに 泣き虫になってしまったの
昔通り独り 歩いて行こうと決めたのに

私ぼんやりと 授業中窓の外見て
マラソン走ってる 君を目で追ってしまってる

私のことなど ちっとも覚えてない君
もう「彼女ですよ」と 紹介されることもないの

君というだけで とっても楽しかったのよ
いつだって私を 笑わせてくれたあの頃は

時間過ぎるのが とっても早く感じてた
今はもう独りで 長い時間もて余すだけ

ずっとこのままで 君の記憶が戻らないなら
私とのこと 全部無かったことになるの

独りになるたび 考え込んでしまうから
もう全部 私も忘れてしまうことにしたの

だけどいつだって 君の声が聞こえてくるたび
私の目から 涙溢れて止まらないの

私いつのまに 泣き虫に...